

iFreeNEXT FANG+インデックス (毎月決算／予想分配金提示型)

運用報告書(全体版)

第3期(決算日 2026年3月23日)
第4期(決算日 2026年4月20日)
第5期(決算日 2026年5月20日)
第6期(決算日 2026年6月22日)
第7期(決算日 2026年7月21日)
第8期(決算日 2026年8月20日)

(作成対象期間 2026年2月21日～2026年8月20日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型		
信託期間	2025年12月9日～2036年2月20日		
運用方針	投資成果をNYSE FANG+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	FANG+インデックス・マザーファンドの受益証券	
	FANG+インデックス・マザーファンド	イ. 米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ロ. 米国株式の指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国上場企業の株式に投資し、NYSE FANG+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動した投資成果をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(ベンチマーク)	期 中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2026年 1 月20日)	9,506	0	△ 4.9	9,522	△ 4.8	96.4	3.6	—	10,236
2 期末 (2026年 2 月20日)	8,625	0	△ 9.3	8,646	△ 9.2	95.2	4.9	—	8,923
3 期末 (2026年 3 月23日)	8,760	0	1.6	8,788	1.6	96.4	3.4	—	8,957
4 期末 (2026年 4 月20日)	9,862	0	12.6	9,899	12.6	95.9	4.2	—	9,974
5 期末 (2026年 5 月20日)	10,336	100	5.8	10,482	5.9	98.0	2.9	—	10,000
6 期末 (2026年 6 月22日)	10,796	100	5.4	11,059	5.5	97.0	3.1	—	11,054
7 期末 (2026年 7 月21日)	10,544	100	△ 1.4	10,909	△ 1.4	97.2	3.7	—	10,268
8 期末 (2026年 8 月20日)	10,815	100	3.5	11,300	3.6	97.0	3.8	—	10,316

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) NYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. The index data and marks referenced herein are the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates (“ICE Data”) and/or its third party suppliers (“ICE Data and its Suppliers”) and have been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html] for a full copy of the Disclaimer.

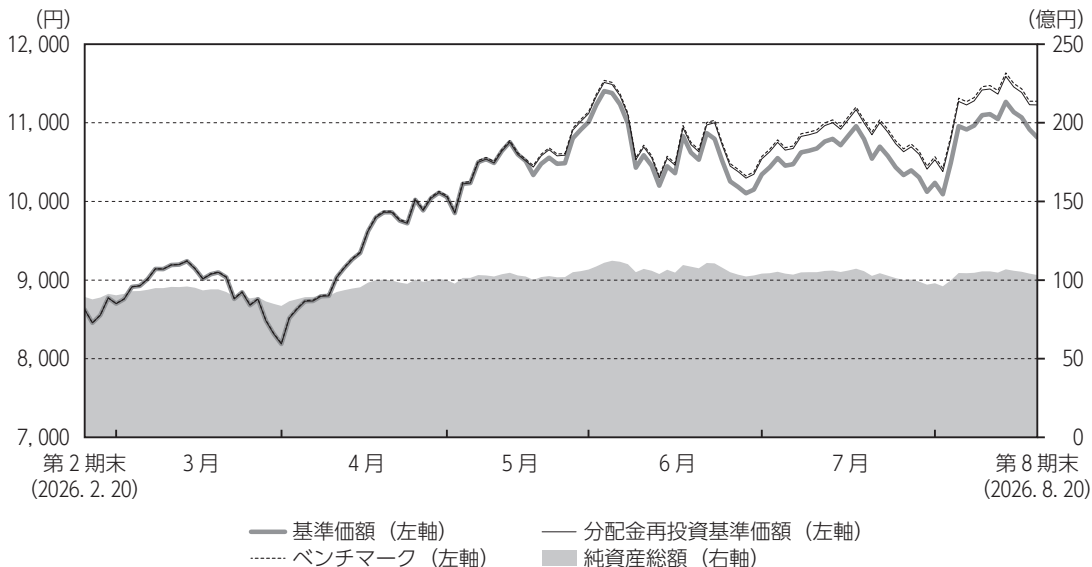
出所：ICE Data Indices, LLC（以下「ICE データ」）
本書で言及されているインデックスデータおよびマークは、ICE データ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICE データおよびその供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークは NYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）です。

基準価額・騰落率

第3期首：8,625円

第8期末：10,815円（既払分配金400円）

騰落率：30.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

ベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行った結果、ベンチマークが上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

iFreeNEXT FANG+インデックス（毎月決算／予想分配金提示型）

	年 月 日	基 準 価 額		NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率			
第 3 期	(期首) 2026年 2 月20日	円 8,625	% —	8,646	% —	% 95.2	% 4.9	% —
	2 月末	8,700	0.9	8,723	0.9	97.1	2.9	—
	(期末) 2026年 3 月23日	8,760	1.6	8,788	1.6	96.4	3.4	—
第 4 期	(期首) 2026年 3 月23日	8,760	—	8,788	—	96.4	3.4	—
	3 月末	8,187	△ 6.5	8,214	△ 6.5	97.2	2.9	—
	(期末) 2026年 4 月20日	9,862	12.6	9,899	12.6	95.9	4.2	—
第 5 期	(期首) 2026年 4 月20日	9,862	—	9,899	—	95.9	4.2	—
	4 月末	10,058	2.0	10,098	2.0	95.7	4.2	—
	(期末) 2026年 5 月20日	10,436	5.8	10,482	5.9	98.0	2.9	—
第 6 期	(期首) 2026年 5 月20日	10,336	—	10,482	—	98.0	2.9	—
	5 月末	11,011	6.5	11,169	6.6	97.1	2.9	—
	(期末) 2026年 6 月22日	10,896	5.4	11,059	5.5	97.0	3.1	—
第 7 期	(期首) 2026年 6 月22日	10,796	—	11,059	—	97.0	3.1	—
	6 月末	10,344	△ 4.2	10,596	△ 4.2	97.2	2.8	—
	(期末) 2026年 7 月21日	10,644	△ 1.4	10,909	△ 1.4	97.2	3.7	—
第 8 期	(期首) 2026年 7 月21日	10,544	—	10,909	—	97.2	3.7	—
	7 月末	10,237	△ 2.9	10,594	△ 2.9	97.3	2.7	—
	(期末) 2026年 8 月20日	10,915	3.5	11,300	3.6	97.0	3.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2026. 2. 21 ～ 2026. 8. 20）

■米国株式市況

米国株式市況は大幅に上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「A I（人工知能）脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などもあり、おおむね横ばいで推移しました。2026年3月には米国とイスラエルによるイランへの軍事作戦の開始やホルムズ海峡の封鎖で大幅に下落しましたが、4月以降はA I・半導体関連株の集中物色で急反発したほか、イランとの和平交渉の進展期待も相場を押し上げ、史上最高値を更新しました。6月以降は、イランとの一時的な和平合意が成立し、ホルムズ海峡の通航状況が改善したことが好感された一方、スペースXの史上最大規模の資金調達による需給悪化や大手IT（情報技術）企業の過剰投資懸念などが上値を抑え、高値圏での保合相場となりました。7月末には、米国企業の決算発表がA I投資の採算性や持続性への疑念を和らげたことで上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場（米ドル／円）

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことでリスク回避の円買いは限定的となり、円安となりました。2026年4月末から5月上旬には、日本政府・日銀が円買いの為替介入を実施したことで、円高が進行しました。5月中旬にはホルムズ海峡の封鎖長期化への懸念による原油高が円安米ドル高要因となったほか、同月下旬には米国とイランの戦闘終結期待による市場心理の改善などを背景に、円安となりました。6月は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げ観測やスペースXの上場に伴う米ドル買い圧力が強く見受けられ、円安となりました。当作成期末にかけては、日本政府・日銀が円買いの為替介入を実施したとみられたことから、急速に円高が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「FANG+インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■FANG+インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて (2026. 2. 21 ～ 2026. 8. 20)

■当ファンド

「FANG+インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率は、当作成期を通じておおむね100%程度に維持しました。

■FANG+インデックス・マザーファンド

米国株式を中心に、外国株式先物も一部利用し、株式組入比率（株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ベンチマークの採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

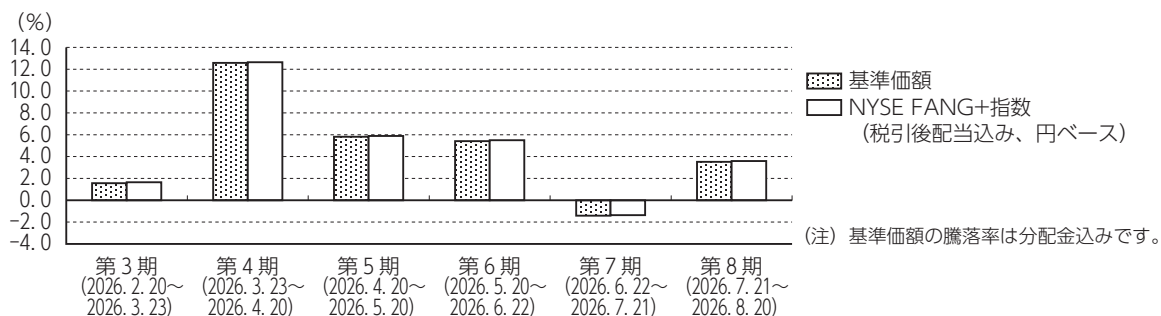
組入ファンド	ベンチマーク
FANG+インデックス・マザーファンド	NYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は30.7%、当ファンドの基準価額の騰落率は30.2%となりました。

マザーファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異が、かい離要因となりました。その他、運用管理費用、マザーファンドにおける売買委託手数料や保管費用等のコスト負担がかい離要因としてあげられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



*ベンチマークはNYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）です。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。第3期～第4期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
	2026年 2月21日 ～2026年 3月23日	2026年 3月24日 ～2026年 4月20日	2026年 4月21日 ～2026年 5月20日	2026年 5月21日 ～2026年 6月22日	2026年 6月23日 ～2026年 7月21日	2026年 7月22日 ～2026年 8月20日
当期分配金(税込み) (円)	—	—	100	100	100	100
対基準価額比率 (%)	—	—	0.96	0.92	0.94	0.92
当期の収益 (円)	—	—	100	100	—	100
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	100	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4	178	630	1,027	927	1,054

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
(a) 経費控除後の配当等収益	1.97円	2.60円	✓ 1.63円	✓ 4.73円	0.00円	✓ 1.57円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	170.73	✓ 550.73	✓ 491.86	0.00	✓ 225.46
(c) 収益調整金	2.68	2.81	13.26	85.81	125.62	156.31
(d) 分配準備積立金	0.00	1.89	164.84	544.86	✓ 901.71	771.06
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4.66	178.04	730.48	1,127.28	1,027.34	1,154.42
(f) 分配金	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	4.66	178.04	630.48	1,027.28	927.34	1,054.42

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「FANG+インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■FANG+インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	第 3 期～第 8 期 (2026. 2. 21～2026. 8. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0. 384%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 027円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0. 196)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0. 174)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0. 002	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(0)	(0. 001)	
(先物・オプション)	(0)	(0. 000)	
有価証券取引税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	0	0. 005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0. 002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	39	0. 391	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

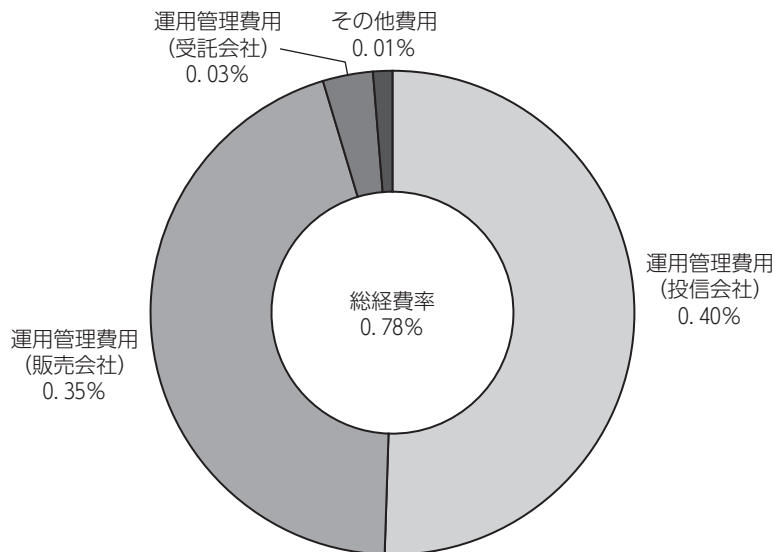
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.78%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2026年 2月21日から2026年 8月20日まで)

決 算 期	第 3 期 ～ 第 8 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
FANG+インデックス・マザーファンド	116, 401	1, 142, 838	235, 795	2, 248, 125

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2026年 2月21日から2026年 8月20日まで)

項 目	第 3 期 ～ 第 8 期
	FANG+インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	665, 115, 183千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1, 246, 846, 900千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0. 53

(注 1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年 8月20日現在

項 目	第 8 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
FANG+インデックス・マザーファンド	10, 410, 614	99. 6
コール・ローン等、その他	36, 713	0. 4
投資信託財産総額	10, 447, 327	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月20日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝158. 48円です。

(注 3) FANG+インデックス・マザーファンドにおいて、第8期末における外貨建純資産 (1, 527, 350, 814千円) の投資信託財産総額 (1, 533, 049, 231千円) に対する比率は、99. 6%です。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第 2 期末	第 8 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
FANG+インデックス・マザーファンド	1, 114, 054	994, 660	10, 410, 614

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年3月23日)、(2026年4月20日)、(2026年5月20日)、(2026年6月22日)、(2026年7月21日)、(2026年8月20日)現在

項 目	第3期末	第4期末	第5期末	第6期末	第7期末	第8期末
(A) 資産	9,088,619,292円	10,109,239,118円	10,220,532,588円	11,215,485,504円	10,455,383,089円	10,447,327,693円
コール・ローン等	28,678,585	53,942,531	74,461,869	53,737,396	38,261,074	36,713,288
FANG+インデックス・マザーファンド（評価額）	8,956,153,648	9,973,628,349	10,096,012,159	11,153,047,808	10,364,032,625	10,410,614,405
未収入金	103,787,059	81,668,238	50,058,560	8,700,300	53,089,390	—
(B) 負債	131,566,236	134,947,448	219,834,396	160,939,925	186,864,173	130,554,846
未払収益分配金	—	—	96,755,968	102,393,923	97,385,376	95,391,614
未払解約金	125,426,057	129,429,805	116,542,543	50,881,555	82,782,423	28,347,467
未払信託報酬	6,096,954	5,435,881	6,408,690	7,484,186	6,470,242	6,543,242
その他未払費用	43,225	81,762	127,195	180,261	226,132	272,523
(C) 純資産総額（A－B）	8,957,053,056	9,974,291,670	10,000,698,192	11,054,545,579	10,268,518,916	10,316,772,847
元本	10,224,696,340	10,113,750,831	9,675,596,800	10,239,392,373	9,738,537,666	9,539,161,493
次期繰越損益金	△ 1,267,643,284	△ 139,459,161	325,101,392	815,153,206	529,981,250	777,611,354
(D) 受益権総口数	10,224,696,340口	10,113,750,831口	9,675,596,800口	10,239,392,373口	9,738,537,666口	9,539,161,493口
1万口当り基準価額（C/D）	8,760円	9,862円	10,336円	10,796円	10,544円	10,815円

* 当作成期首における元本額は10,345,360,406円、当作成期間（第3期～第8期）中における追加設定元本額は3,642,862,537円、同解約元本額は4,449,061,450円です。

* 第8期末の計算口数当りの純資産額は10,815円です。

■損益の状況

第3期 自 2026年2月21日 至 2026年3月23日

第4期 自 2026年3月24日 至 2026年4月20日

第5期 自 2026年4月21日 至 2026年5月20日

第6期 自 2026年5月21日 至 2026年6月22日

第7期 自 2026年6月23日 至 2026年7月21日

第8期 自 2026年7月22日 至 2026年8月20日

項 目	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
(A) 配当等収益	35,705円	17,450円	41,705円	37,310円	34,428円	26,891円
受取利息	35,705	17,450	41,705	37,310	34,428	26,891
(B) 有価証券売買損益	127,645,226	1,112,420,917	540,864,492	515,989,580	△ 129,073,811	350,844,268
売買益	153,557,214	1,137,269,793	577,156,445	539,969,843	30,682,666	366,267,715
売買損	△ 25,911,988	△ 24,848,876	△ 36,291,953	△ 23,980,263	△ 159,756,477	△ 15,423,447
(C) 信託報酬等	△ 6,140,179	△ 5,474,418	△ 6,454,123	△ 7,537,252	△ 6,516,113	△ 6,589,633
(D) 当期損益金（A+B+C）	121,540,752	1,106,963,949	534,452,074	508,489,638	△ 135,555,496	344,281,526
(E) 前期繰越損益金	△ 1,100,910,396	△ 929,734,903	159,500,179	557,912,707	878,142,873	607,831,856
(F) 追加信託差損益金	△ 288,273,640	△ 316,688,207	△ 272,094,893	△ 148,855,216	△ 115,220,751	△ 79,110,414
（配当等相当額）	(2,750,155)	(2,843,077)	(12,831,975)	(87,871,689)	(122,338,704)	(149,112,741)
（売買損益相当額）	(△ 291,023,795)	(△ 319,531,284)	(△ 284,926,868)	(△ 236,726,905)	(△ 237,559,455)	(△ 228,223,155)
(G) 合計（D+E+F）	△ 1,267,643,284	△ 139,459,161	△ 121,857,360	△ 917,547,129	△ 627,366,626	△ 873,002,968
(H) 収益分配金	—	—	△ 96,755,968	△ 102,393,923	△ 97,385,376	△ 95,391,614
次期繰越損益金（G+H）	△ 1,267,643,284	△ 139,459,161	325,101,392	815,153,206	529,981,250	777,611,354
追加信託差損益金	△ 288,273,640	△ 316,688,207	△ 272,094,893	△ 148,855,216	△ 115,220,751	△ 79,110,414
（配当等相当額）	(2,750,155)	(2,843,077)	(12,831,975)	(87,871,689)	(122,338,704)	(149,112,741)
（売買損益相当額）	(△ 291,023,795)	(△ 319,531,284)	(△ 284,926,868)	(△ 236,726,905)	(△ 237,559,455)	(△ 228,223,155)
分配準備積立金	2,015,328	177,229,046	597,196,285	964,008,422	780,757,497	856,721,768
繰越損益金	△ 981,384,972	—	—	—	△ 135,555,496	—

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 3 期	第 4 期	第 5 期	第 6 期	第 7 期	第 8 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2, 015, 328円	2, 637, 051円	1, 584, 501円	4, 848, 732円	0円	1, 500, 057円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	172, 678, 805	532, 867, 573	503, 640, 906	0	215, 077, 355
(c) 収益調整金	2, 750, 155	2, 843, 077	12, 831, 975	87, 871, 689	122, 338, 704	149, 112, 741
(d) 分配準備積立金	0	1, 913, 190	159, 500, 179	557, 912, 707	878, 142, 873	735, 535, 970
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	4, 765, 483	180, 072, 123	706, 784, 228	1, 154, 274, 034	1, 000, 481, 577	1, 101, 226, 123
(f) 分配金	0	0	96, 755, 968	102, 393, 923	97, 385, 376	95, 391, 614
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	4, 765, 483	180, 072, 123	610, 028, 260	1, 051, 880, 111	903, 096, 201	1, 005, 834, 509
(h) 受益権総口数	10, 224, 696, 340□	10, 113, 750, 831□	9, 675, 596, 800□	10, 239, 392, 373□	9, 738, 537, 666□	9, 539, 161, 493□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金（税込み）	第 3 期	第 4 期	第 5 期	第 6 期	第 7 期	第 8 期
	0 円	0 円	100円	100円	100円	100円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

<補足情報>

当ファンド（iFreeNEXT FANG+インデックス（毎月決算／予想分配金提示型））が投資対象としている「FANG+インデックス・マザーファンド」の決算日（2026年1月30日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第8期の決算日（2026年8月20日）現在におけるFANG+インデックス・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ FANG+インデックス・マザーファンドの主要な売買銘柄
株 式

(2026年2月21日から2026年8月20日まで)

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
MICRON TECHNOLOGY (アメリカ)	1,579.87	110,339,933	69,841	MICRON TECHNOLOGY (アメリカ)	742.48	136,722,657	184,143
PALANTIR TECHNOLOGIES CLASS A (アメリカ)	2,730.516	58,663,456	21,484	CROWDSTRIKE HOLDINGS CLASS A (アメリカ)	1,527.563	99,964,228	65,440
NETFLIX (アメリカ)	4,250.196	54,110,153	12,731	NVIDIA CORP (アメリカ)	381.454	10,531,821	27,609
MICROSOFT (アメリカ)	832.097	51,356,499	61,719	ALPHABET CLASS A (アメリカ)	180.783	8,699,690	48,122
META PLATFORMS CLASS A (アメリカ)	459.043	43,494,335	94,750	BROADCOM INC (アメリカ)	125.411	8,004,534	63,826
AMAZON COM INC (アメリカ)	507.839	19,296,232	37,996	NETFLIX (アメリカ)	299.883	4,401,857	14,678
NVIDIA CORP (アメリカ)	546.268	17,845,712	32,668				
APPLE (アメリカ)	371.174	16,118,854	43,426				
BROADCOM INC (アメリカ)	197.086	11,768,334	59,711				
ALPHABET CLASS A (アメリカ)	217.897	11,760,439	53,972				

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2026年8月20日現在におけるFANG+インデックス・マザーファンド（146,442,785千口）の内容です。

(1)外国株式

銘柄		2026年 8月20日現在		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額 邦貨換算金額		
		百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
APPLE		29,517.05	935,188	148,208,704	情報技術
BROADCOM INC		22,233.57	805,922	127,722,589	情報技術
AMAZON.COM INC		36,781.35	977,795	154,961,016	一般消費財・サービス
ALPHABET CLASS A		24,012.67	827,764	131,184,159	コミュニケーション・サービス
META PLATFORMS CLASS A		15,390.91	840,389	133,184,984	コミュニケーション・サービス
PALANTIR TECHNOLOGIES CLASS A		66,872.62	1,171,541	185,665,885	情報技術
NVIDIA CORP		42,685.42	928,663	147,174,670	情報技術
NETFLIX		113,507.93	910,560	144,305,646	コミュニケーション・サービス
MICROSOFT		23,054.47	1,116,551	176,951,008	情報技術
MICRON TECHNOLOGY		8,373.9	784,722	124,362,798	情報技術
ファンド合計		株数、金額 銘柄数<比率>	382,429.89 10銘柄	9,299,100 <96.1%>	1,473,721,463

(注1) 邦貨換算金額は、2026年8月20日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別残高（評価額）

銘 柄 別	2026年8月20日現在	
	買 建 額	売 建 額
外国	百万円	百万円
NYSE FANG+ IDX FU (アメリカ)	58,125	—

(注1) 外貨建の評価額は、2026年8月20日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 単位未満は切捨て。

*同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

FANG+インデックス・マザーファンド

運用報告書 第8期（決算日 2026年1月30日）

（作成対象期間 2025年1月31日～2026年1月30日）

FANG+インデックス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

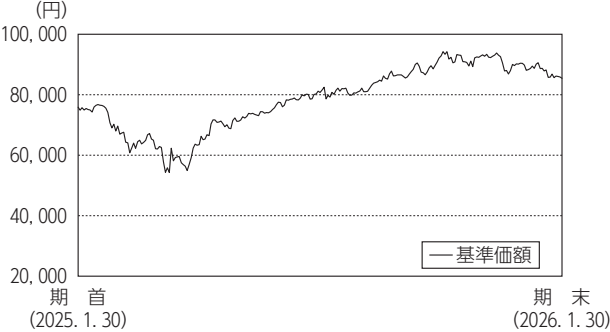
運用方針	投資成果を NYSE FANG+指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ．米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（D R（預託証券）を含みます。） ロ．米国株式の指数との連動をめざす E T F（上場投資信託証券）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		NYSE FANG+ 指数 (税引後配当 込み、円ベース)		株 組 比	式 入 率	株 先 比	式 物 率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率					
(期首) 2025年 1 月30日	75,878	—	76,644	—	96.7	—	3.9	—	—
1 月末	74,891	△ 1.3	75,640	△ 1.3	96.0	—	4.6	—	—
2 月末	68,014	△ 10.4	68,695	△ 10.4	94.8	—	5.7	—	—
3 月末	62,143	△ 18.1	62,776	△ 18.1	97.8	—	2.3	—	—
4 月末	63,302	△ 16.6	63,950	△ 16.6	96.2	—	4.2	—	—
5 月末	71,216	△ 6.1	71,948	△ 6.1	95.6	—	4.4	—	—
6 月末	77,524	2.2	78,319	2.2	97.4	—	2.7	—	—
7 月末	81,546	7.5	82,394	7.5	97.4	—	2.7	—	—
8 月末	82,188	8.3	83,044	8.3	95.7	—	4.4	—	—
9 月末	86,572	14.1	87,482	14.1	95.7	—	4.6	—	—
10 月末	93,354	23.0	94,344	23.1	96.4	—	3.8	—	—
11 月末	92,815	22.3	93,798	22.4	96.4	—	3.6	—	—
12 月末	89,790	18.3	90,812	18.5	96.7	—	3.5	—	—
(期末) 2026年 1 月30日	85,421	12.6	86,404	12.7	96.2	—	3.6	—	—

- (注 1) 騰落率は期首比。
- (注 2) NYSE FANG+指数 (税引後配当込み、円ベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：75,878円 期末：85,421円 騰落率：12.6%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、2025年4月の急落後上昇に転じ、史上最高値を更新しました。

米国株式市況は、当作成期首より、インフレの沈静化が好感されたものの、経済指標の悪化やトランプ政権による関税引き上げへの懸念が強まり、大幅に下落しました。特に、2025年4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価はまれに見る急落に見舞われ、当作成期の安値を記録しました。しかし、同月9日に相互関税の大部分の適用が90日間停止されたことから株価は急反発しました。5月以降も、米中双方の大幅な関税引き下げのほか、インフレの加速が見られない中で雇用情勢が悪化してF R B (米国連邦準備制度理事会) の利下げ観測が強まったことなどが好感され、株価は上昇しました。7月以降は、各国に対する相互関税の引き下げなど通商交渉が進展したことに加え、9月中旬のF R B の利下げ決定などが、株価の上昇を促しました。さらに10月下旬にかけては、成長期待が高まったA I (人工知能)・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、史上最高値を更新しました。11月には、政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落しましたが、同月下旬には利下げ観測が高まったことを好感し、反発しました。12月以降は、A I への過剰投資が懸念されたことや、A I 新興企業アンソロピックによる新A I ツールのリリースを受けて業界再編への警戒感が強まり、ソフトウェア株を中心に下落しました。

○為替相場 (米ドル/円)

米ドル為替相場は対円ではほぼ横ばいとなりました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、米国金利の低下や日銀の審議委員が利上げを進める方針を示したことで、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高基調となりました。2025年5月は、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まったことなどから、月前半に円安が進行しましたが、後半には、国内金利の上昇を受けた金利差縮小の思惑などから円高圧力が強まり、米ドル円は上昇幅を縮小しました。6月には、中東情勢の緊迫化などから米ドル円が上下に振れる局面もありましたが、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことなどから、日米金利差縮小への期待が後退し、円安が進行しました。7月も、米国の利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まったことなどから、円安基調が継続しました。8月に入ると、米国の軟調な雇用統計などを受けて同国の利下げ期待が高まったことで金利差縮小が意識され、急速に円高となりました。その後はおおむねレンジでの推移が継続しましたが、10月から11月半ばにかけて、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩やかな金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェック (介入の事前確認) を日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

米国株式を中心に、外国株式先物も一部利用し、株式組入比率 (株価指数先物を含む。) につましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

FANG+インデックス・マザーファンド

ベンチマークの採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は12.7%、当ファンドの基準価額の騰落率は12.6%となりました。
ファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異が、かい離要因となりました。その他、売買委託手数料や保管費用等のコスト負担がかい離要因としてあげられます。
*ベンチマークは NYSE FANG+指数（税引後配当込み、円ベース）です。

《今後の運用方針》

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	5円
（株式）	(4)
（先物・オプション）	(1)
有価証券取引税	0
（株式）	(0)
その他費用	4
（保管費用）	(3)
（その他）	(1)
合 計	9

（注 1）費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
（注 2）項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
株 式

当 期				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
PALANTIR TECHNOLOGIES INC CLASS A（アメリカ）	3,956.746	120,293,656	30,402	SERVICENOW INC（アメリカ）	3,685.951	91,211,815	24,745
NETFLIX INC（アメリカ）	2,165.469	70,639,987	32,621	ALPHABET INC CLASS A（アメリカ）	1,127.753	47,591,806	42,200
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC CLASS A（アメリカ）	904.98	64,309,351	71,061	CROWDSTRIKE HOLDINGS INC CLASS A（アメリカ）	423.503	27,738,007	65,496
APPLE INC（アメリカ）	1,749.509	59,812,832	34,188	APPLE INC（アメリカ）	592.155	24,526,939	41,419
SERVICENOW INC（アメリカ）	414.349	56,677,875	136,787	BROADCOM INC（アメリカ）	524.181	24,169,214	46,108
META PLATFORMS INC CLASS A（アメリカ）	540.539	55,155,580	102,038	NETFLIX INC（アメリカ）	99.762	15,508,370	155,453
AMAZON COM INC（アメリカ）	1,599.264	53,213,756	33,273	NVIDIA CORP（アメリカ）	429.286	10,673,800	24,864
MICROSOFT CORP（アメリカ）	721.304	51,256,229	71,060	META PLATFORMS INC CLASS A（アメリカ）	51.625	4,737,826	91,773
ALPHABET INC CLASS A（アメリカ）	1,618.132	51,032,516	31,537	MICROSOFT CORP（アメリカ）	55.058	3,806,206	69,130
BROADCOM INC（アメリカ）	1,097.207	45,618,137	41,576	AMAZON COM INC（アメリカ）	29.816	900,058	30,187

（注 1）金額は受渡し代金。
（注 2）金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(2025年 1月31日から2026年 1月30日まで)					
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	百株 165,620.2 (78,767.98)	千アメリカ・ドル 4,412,296 (—)	百株 70,190.9	千アメリカ・ドル 1,640,943

（注 1）金額は受渡し代金。
（注 2）（ ）内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注 3）金額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の種類別取引状況

(2025年 1月31日から2026年 1月30日まで)					
種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	株式先物取引	百万円 471,070	百万円 456,813	百万円 —	百万円 —

（注 1）金額は受渡し代金。
（注 2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1)外国株式

銘 柄		期 首	当	期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)						
APPLE INC		14, 231. 77	25, 805. 31	666, 499	102, 414, 320	情報技術
SERVICENOW INC		3, 327. 26	—	—	—	情報技術
BROADCOM INC		15, 786. 56	21, 516. 82	711, 625	109, 348, 418	情報技術
AMAZON COM INC		16, 008. 48	31, 702. 96	766, 355	117, 758, 209	一般消費財・サービス
ALPHABET INC CLASS A		18, 737. 74	23, 641. 53	799, 674	122, 878, 022	コミュニケーション・サービス
META PLATFORMS INC CLASS A		5, 911. 34	10, 800. 48	797, 410	122, 530, 057	コミュニケーション・サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC CLASS A		10, 109. 95	14, 924. 72	663, 582	101, 966, 148	情報技術
PALANTIR TECHNOLOGIES INC CLASS A		—	39, 567. 46	600, 871	92, 329, 906	情報技術
NVIDIA CORP		27, 384. 93	41, 037. 28	790, 008	121, 392, 733	情報技術
NETFLIX INC		3, 968. 51	74, 004. 8	615, 423	94, 566, 039	コミュニケーション・サービス
MICROSOFT CORP		8, 071. 04	14, 733. 5	638, 697	98, 142, 215	情報技術
フ ァ ン ド 合 計	株 数、金 額	123, 537. 58	297, 734. 86	7, 050, 150	1, 083, 326, 071	
	銘柄数<比率>	10 銘柄	10 銘柄		<96. 2%>	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
外国	NYSE FANG+ IDX FU (アメリカ)	百万円	百万円
		40, 855	—

(注 1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年 1月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	1, 083, 326, 071	96. 2
コール・ローン等、その他	43, 190, 140	3. 8
投資信託財産総額	1, 126, 516, 211	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝153. 66円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産（1, 119, 834, 702千円）の投資信託財産総額（1, 126, 516, 211千円）に対する比率は、99. 4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,130,838,497,320円
コール・ローン等	28,323,174,502
株式（評価額）	1,083,326,071,285
未収入金	4,594,387,021
差入委託証拠金	14,594,864,512
(B) 負債	5,285,194,298
未払金	5,266,252,126
未払解約金	18,942,172
(C) 純資産総額（A－B）	1,125,553,303,022
元本	131,766,077,871
次期繰越損益金	993,787,225,151
(D) 受益権総口数	131,766,077,871口
1万口当り基準価額（C／D）	85,421円

* 期首における元本額は77,605,367,545円、当作成期間中における追加設定元本額は57,587,449,205円、同解約元本額は3,426,738,879円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
iFreeNEXT FANG+インデックス 116,869,367,429円
FANG+インデックス・オープン 7,354,843,527円
iFreeETF FANG+ 6,382,953,601円
iFreeNEXT FANG+インデックス（毎月決算／予想分配金提示型） 1,158,913,314円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は85,421円です。

■損益の状況

当期 自 2025年 1月31日 至 2026年 1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,815,438,784円
受取配当金	1,990,223,091
受取利息	364,612,810
その他収益金	460,602,883
(B) 有価証券売買損益	95,926,023,899
売買益	177,842,460,892
売買損	△ 81,916,436,993
(C) 先物取引等損益	2,796,156,398
取引益	11,140,607,803
取引損	△ 8,344,451,405
(D) その他費用	△ 41,298,242
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	101,496,320,839
(F) 前期繰越損益金	511,249,913,344
(G) 解約差損益金	△ 22,621,384,010
(H) 追加信託差損益金	403,662,374,978
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	993,787,225,151
次期繰越損益金（I）	993,787,225,151

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. The index data and marks referenced herein are the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers ("ICE Data and its Suppliers") and have been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks. See [https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC（以下「ICE データ」）
本書で言及されているインデックスデータおよびマークは、ICE データ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICE データおよびその供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.

《お知らせ》
■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について
2025年 4月 1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）
＜変更前＞
（運用報告書）
委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。
＜変更後＞
（運用状況にかかる情報）
委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。